

白山ふるさと文学賞

第十二回 白山市ジュニア文芸賞 受賞作品

【島清部門】

小学生3・4年 作文の部 最優秀賞

「わたしのちよう戦」

蕪城小学校四年

森田^{もりた}

都^と琶^わ

わたしは四年生になって始めたことがあります。それは毎日、英語の日記を書くことです。始めた理由は、習い事をふやしたくなかったからです。それはどういうことかというところ、わたしは今、ピアノ・書道・ダンス・絵画の四つの習い事をしています。どの習い事も、大好きなので、やめたくありません。そして、これ以上ふやしたくもありません。でも、お母さんは、「英語を習いに行ったらどう？」と言っています。でもわたしは行きたくないのです、言われるたびに「いやだ。」と言っていました。そして、お母さんが「習いに行きたくないのなら、毎日いっしょに英語で日記を書いてみようよ。」と言ってきたので、始めることにしました。

まず毎日、○月○日○曜日とその日の天気を英語で書きます。初めのころは、辞書などを見ながら書いていましたが、だんだんと見なくても書けるようになってきました。そして毎日その日にあつたことを一行だけ英語で書きます。「今日は友達と遊んだ。」とか、「今日は何を食べた。」とか「今日はひまだった。」とか、とてもかんたんなことばかりだけど、辞書などで聞いた単語を調べて書きます。毎日たった一行の日記だけど、毎日つづけていると少しずつでも勉強になっている気がします。

そしてお母さんと話し合って、せっかく英語の勉強を始めたのだから、英語けん定にちよう戦することにしました。まずは、英語けん定5級しけん合かくに向けて勉強しています。毎日一ページ中学校一年生のドリルをやっています。英語のむずかしいなと思うところは、日本語とくらべたら、文に入るたん語の順番がかわったり、「a」がいるのかいないのか「s」がつくのかつかないのかなどややこしいなあと思うことがよくあります。英語の発音も、CDやアプリなどで聞いていますが、一度聞いただけでは、何ていっているの??と聞きとれなくて、何度も聞かないと分からないし、次の日になったら、もうすっかりわすれていることもあります。始めたばかりだし、まだぜんぜ

んダメだけど、お母さんといっしょに勉強するのはとても楽しいです。

この前、家族で岐阜県に旅行に行きました。観光地は外国人旅行者でいっぱいでした。そこで、わたしの大学生のお兄ちゃんが、外国人に、写真をとってほしいと英語で話しかけられて、とってあげていました。お兄ちゃんは、とつぜん外国の人に話しかけられて、少しびっくりしていました。何か英語で会話をしながら写真を撮ってあげて、英語でおれいを言われていました。とてもかんたんたん語を話したただけだとお兄ちゃんは言っていました。わたしは、何だかとてもうらやましく思いました。わたしももし、外国人に話しかけられたら、答えられるようにがんばって、勉強しようと思いました。

わたしは、日本に生まれて、まわりの人みんなが日本語を話すので、当たり前のことですが、日本語が話せます。それは毎日、日本語にふれてきたからです。なので、同じように、少しずつでも毎日、英語にふれていけば、いずれ、英語も話せるようになります。なるのではないかと思っています。毎日コツコツが大事なんだと思います。毎日コツコツ勉強して、まずは今年、英語けん定5級に合かくしたいです。

わたしは今まで、学校のテストしか受けたことがありません。試験を受けるのは初めてのけいけん、知らない人ばかりの中で受けるのは不安です。しかも英語けん定の試験は、リスニングという、英文を聞いて、問題に答える試験もあるみたいなので、試験の時に、冷静に聞き取ることができるとか、とてもきんちようすると思います。でもやると決めたのがんばります。そして、合かくできたら、来年は4級、その次は3級とちよう戦していきたいと思っています。今は一行日記だけど、そのうち一ページ全て英語で日記を書けるようになるの、いいなと思います。

英語が話せるようになったら、海外旅行にも行ってみたいです。楽しみです!!